

山梨県高等学校バレーボール専門部
委員会（大会）申し合わせ事項

（昭和63年 1月14日制定）

（令和 5年 4月20日改定）

（令和 6年 4月18日改定）

———— 大会参加上の諸注意 ————

1 試合会場に関すること

- (1) 体育館の開館時間は原則として、午前8時00分とする。但し、区市町村立の体育館を使用する場合はこの限りではない。
- (2) 上下履きの区別をしっかりとつけること。
- (3) 貴重品の管理等、盗難防止には各チームとも十分に注意すること。
- (4) 会場を汚さないように注意するとともに、使用した場所は必ず清掃し、ゴミ等はチームの責任において持ち帰ること。
- (5) 体育館の外での練習（特に平日）は、会場校に迷惑をかけないように十分注意すること。（特に声をだしての練習は禁止）
- (6) 会場校の設備、備品、用具等を勝手に使用しないこと。
- (7) 顧問、保護者等の車、選手のバイク、自転車等については決められた場所にきちんと駐車すること。
- (8) その他、会場主任からの注意をしっかりと守ること。

2 開場から第1試合開始までの練習に関すること・試合設定時間

- (1) コートは、高等学校体育館の場合、通常ステージ側をアルファベットの若い方とする。区市町村立の体育館の場合は表示による。
- (2) 第1試合前にフロア内で練習できるのは、**第1試合・第2試合のチームのみ**とする。

	高校体育館会場	公共体育館会場
開場時間	8 : 0 0	8 : 3 0
4チーム合同練習	8 : 0 0 ~ 8 : 1 0	8 : 3 0 ~ 8 : 4 0
第2試合コート優先	8 : 1 0 ~ 8 : 2 5	8 : 4 0 ~ 8 : 5 5
第1試合のみ	8 : 2 5 ~ 8 : 4 9	8 : 5 5 ~ 9 : 1 9
第1試合プロトコール	8 : 4 9	9 : 1 9
第1試合開始	9 : 0 0	9 : 3 0

- (3) 試合設定時刻を設定する。前の試合が早く終了しても設定時刻前には始めない。

	高校体育館会場	公共体育館会場
第1試合	9 : 0 0	9 : 3 0
第2試合	1 0 : 0 0	1 0 : 3 0
第3試合	1 1 : 0 0	1 1 : 3 0
第4試合	1 2 : 0 0	1 2 : 3 0
第5試合	1 3 : 0 0	1 3 : 3 0
第6試合	1 4 : 0 0	1 4 : 3 0
第7試合	1 5 : 0 0	1 5 : 3 0

※上記時間設定を原則とする。会場等の都合により変更ある場合は別途連絡する。

4 競技上の諸注意

*チームに関すること

- (1) チームの編成について、監督・コーチ・マネージャーは1チーム各1名とする。
監督は当該校の校長の認める教職員とし、コーチは、当該校の教職員または、校長の認めた者とする。また、マネージャーは、当該校の教職員又は生徒でなければならない。選手は18名以内で申込みを行い、その中から試合毎に最大14名をエントリーする。エントリーが14名および13名の場合はリベロプレーヤー2名、12名以下の場合はリベロプレーヤー0～2名の競技者でチームを構成する。また、リベロプレーヤーはチームキャプテンにもゲームキャプテンにもなれない。**申込み後の選手変更は原則として認めない。**監督が教員以外の場合は引率教員をつけなければならない。引率教員のベンチ入りについては、教員以外の者が監督の場合のみ、引率教員が、ベンチに入ることができる。なお、監督・コーチ・マネージャーは特殊な事情に限り変更ができる。
- (2) トスについては全試合とも試合開始前11分前（選手権予選決勝は5セットマッチのため15分前）に公式記録席のところで行う。
- (3) 公式練習は、とくに要求があった時は6分間の合同で行なって良いが、それ以外にはトスにおいてサービス権を取ったチームから3分間ずつ行う。なお、公式練習に参加できるのは、ベンチに入ることが許された最大17名の者である。
- (4) トスの前に、監督とキャプテンは記録用紙にサインする。公式練習中に監督のサインしたラインナップシートを提出する。キャプテンは試合終了後にも記録用紙にサインすること。
- (5) 試合終了後は、速やかにベンチを次のチームの為に空けること。
- (6) その他、ルールブック等をよく読み、間違いの無いようにすること。

*試合運営に関すること

- (1) 2試合目以降は、前の試合終了後、直ちにトスを行い、全選手がエンドライン上に整列する。但し、アップ会場等の理由により5～10分間の練習時間を取ることもある。この場合、練習できるのは次の試合のチームのみとする。又、ボールの使用は認めるが、隣のコートで試合が進行されている時はとくに注意すること。
- (2) 試合が連続する場合は、最大20分間の休息を取る。
- (3) 第1試合の補助役員（線審4名・点示2名・記録2名・計8名）については、第3試合のチームより8名又は4名ずつ出すこと。それ以降は、原則として、前の試合の負けチームより8名ずつ出すこと。但し、1～4位・5～8位リーグ（決定戦）においてはこの限りではない。（空きチームより4又は5名ずつ出す）
- (4) 試合ボールについては、各チーム1個試合開始30分前までに本部席に持参すること。

- (5) 試合順序はプログラム及び組合せ表に記載されている通りとする。但し、1～4・5～8位決定リーグ、1～4・5～8位決定戦は、次の通りとする。

1～4位決定リーグ

第1試合	第1シードゾーンの勝者	対	第4シードゾーンの勝者
第2試合	第2シードゾーンの勝者	対	第3シードゾーンの勝者
第3試合	第1シードゾーンの勝者	対	第3シードゾーンの勝者
第4試合	第2シードゾーンの勝者	対	第4シードゾーンの勝者
第5試合	第3シードゾーンの勝者	対	第4シードゾーンの勝者
第6試合	第1シードゾーンの勝者	対	第2シードゾーンの勝者

5～8位決定リーグ

第1試合	第5シードゾーンの勝者	対	第8シードゾーンの勝者
第2試合	第6シードゾーンの勝者	対	第7シードゾーンの勝者
第3試合	第5シードゾーンの勝者	対	第7シードゾーンの勝者
第4試合	第6シードゾーンの勝者	対	第8シードゾーンの勝者
第5試合	第7シードゾーンの勝者	対	第8シードゾーンの勝者
第6試合	第5シードゾーンの勝者	対	第6シードゾーンの勝者

準決勝・決勝 および 5～8位決定戦

第1試合	第1(5)シードゾーンの勝者	対	第4(8)シードゾーンの勝者	
第2試合	第2(6)シードゾーンの勝者	対	第3(7)シードゾーンの勝者	
第3試合	3(7)位決定戦	第1試合の敗者	対	第2試合の敗者
第4試合	決勝(5位決定戦)	第1試合の勝者	対	第2試合の勝者

- (6) リーグ戦(グループ戦)による勝敗が同じ場合は、下記の方法によって順位を決定する。

- ① セット率(全試合の総得セット数を、全試合の総失セット数で除したもの)が高いほど高順位とする。

$$\text{セット率} = \frac{\text{全試合の総得セット数}}{\text{全試合の総失セット数}}$$

- ② 前項の計算によってもなお同順位を生じた場合

ポイント率(全試合の総得点数を全試合の総失点数で除したもの)が高いほど高順位とする。

$$\text{ポイント率} = \frac{\text{全試合の総得点数}}{\text{全試合の総失点数}}$$

5 その他

- (1) 閉会(表彰)式は、最終試合終了後、直ちに行う。
 (2) 会場の片付け・清掃を協力して行う。

———— 組合せ・抽選上の注意 ————

1 組合せ・抽選会に関すること

(1) 次の大会について組合せ、抽選会を実施する。

- ①県高等学校総合体育大会兼関東大会県予選会
- ②全国高等学校総合体育大会兼国民体育大会少年の部選考会
- ③全日本バレーボール高等学校選手権大会山梨県予選
- ④秋山杯兼県高等学校新人大会
- ※県高等学校秋季大会

但し、※については専門部常任委員の責任抽選とする。

(2) 試合形式について

- * (1) の①・②・③……完全トーナメント形式
 - ★但し、県代表権 2 枠を決める場合はリーグ戦で実施する
- * (1) の④は下記の形式（トーナメントは準々決勝まで）
 - 男子……予選グループ戦・トーナメント・リーグ形式
 - 女子……トーナメント・リーグ形式
- * (1) の※……予選グループ戦・予選順位別トーナメントもしくはリーグ戦

(3) シード及びシード位置について

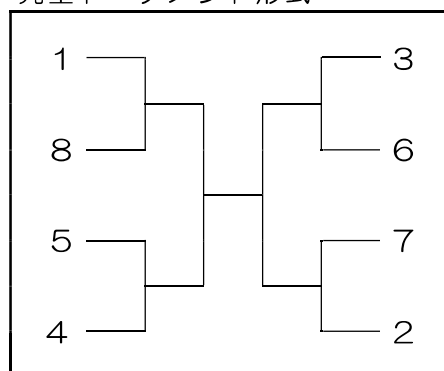
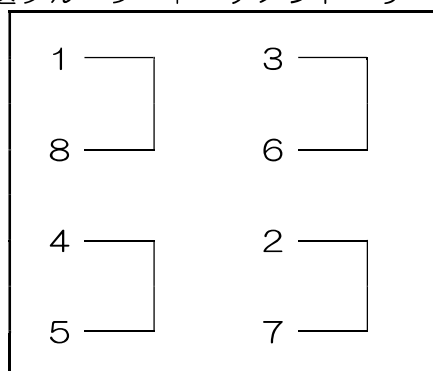
直前の大会結果により男子は上位 6 チーム、女子は上位 8 チームをシードする。

但し、(1) の※県高等学校秋季大会については次大会のシード権はない。

*シード位置については下表の通りとする。

・トーナメント・リーグ形式

・予選グループ・トーナメント・リーグ形式 ・完全トーナメント形式



(4) 会場校の特別抽選及び会場割り当てについて

会場提供校は、組合せの1/2ゾーンに振り分けるよう抽選する。会場提供校は、本抽選の前に特別抽選を行う。

※会場提供校が前回大会の男子上位6チームもしくは女子上位8チームのシード校である場合は、順位によるシードを優先する。

(5) 抽選方法について

(ア) 抽選業務は、競技部及び上位4チームの委員により行う。

(イ) 抽選順序は、抽選により決定する。

(ウ) 抽選方法は、準備された抽選棒をチームの代表者が引く。

(6) その他

(ア) 申し込み締切ならびに抽選会については、期日時間を厳守すること。

(イ) 大会に参加できる選手は

(1) の①・②・③については、JVA-MRSの登録が完了している選手のみ参加可能

(1) の④と※については、JVA-MRSに登録していない選手も参加可能

とする。

(7) 参加チーム数による立ち上がり表をNo.6以降に示す。

各大会申込について（県総体を除く）

1. 大会の「参加」もしくは「不参加」を、大会要項に記載してある申込先にメールで申し込む。

（R6年度は笛吹高校・猪俣先生宛）

2. 申込書（公印有）を委員総会（組合せ抽選会）当日提出する。

ただし、「秋季大会」は常任委員による責任抽選のため、大会初日に各会場で提出する。

令和6年度 競技関係確認事項
(秋季大会を除く)

- ・朝、全チーム揃っての開始式は行わない。
- ・体育館開館後のコートを使った練習は、第1試合・第2試合のチームのみとする。
- ・試合開始時間設定

高校体育館 (8:00 開館)		公営体育館
第1試合	9時00分	(通常は) 開館 8時30分 試合設定時間は 高校体育館の30分遅れ
第2試合	10時00分	
第3試合	11時00分	
第4試合	12時00分	
第5試合	13時00分	
第6試合	14時00分	

※進行状況により遅れる場合はあるが、設定時間より早く試合を始めることはない。

- ・連続試合の場合は、最大20分開けることができる。
- ・第2試合以降のチームの集合時間は、試合開始設定時間の30分前とする。
- ・1日目、第1試合の補助役員は、男女とも第3試合のチームから8名または4名ずつが担当する。補助役員は第1試合開始時間30分前に集合すること。第2試合以降は、前の試合の負けチームの8名が担当する。

県高校総体兼関東大会県予選選手登録について

- ・高校総体申込が部登録前である学校もあるようですので、総体の選手登録について下記の通りとします。

- ①申込時に18人登録されている場合はそのままの登録とします。
- ②申込時に登録が18人未満の場合、総体1日目の集合時間までに1年生の選手を追加登録できる。その場合、申込書に選手氏名・JVA-MRSの選手IDを記入（手書きで直接書き込む）して下さい。

※確認事項

- ・1日目の集合時間までにJVA-MRSのチーム加入選手一覧表を提出して下さい（全チーム）。
- ・総体に出場できる選手はJVA-MRSに登録が完了している（会費が納入済）選手のみです。

競技部

県総体 3 日目時間設定

山梨県高体連の申合せによる県総体3日目競技終了時間の関係で、開館後の練習時間の設定を次の通りとします。

サブアリーナをアップコートとして使用できます。(ネットは設営しない)

8:00 第1試合のチームが準備に入る

コート設営後 第1試合のチーム練習

9:00 3位決定戦試合開始

(補助員は、決勝の両チームから5名ずつ)

3位決定戦終了後20分間コート練習の時間をとる。

10:20 決勝戦(予定)

(決勝戦の補助員は、3決の両チームより5名ずつ)

★3日目コート割

